

皇居乾通りの概要について

○ 乾通り

乾通りは、乾門から宮内庁庁舎前に至る乾濠及び蓮池濠沿いの通りです。

この乾通りは、両側にもみじ、さくら、松を中心にさまざまな樹木が混植され、本丸側の石垣と濠、吹上御苑側の樹林を背景に、美しい景観を楽しめる並木道になっています。

坂下門から乾門までは約750mあります。

○ 乾通り沿いの主な樹木

(1) もみじ類	計69本
・ イロハモミジ	35本
・ トウカエデ	14本
・ オオモミジ	6本
・ モミジ(ベニシダレ)	6本
・ その他(モミジ(オオサカズキ), ノムラモミジ等)	8本
(2) さくら類	計103本
・ ソメイヨシノ	43本
・ サトザクラ	9本
・ シダレザクラ系(ベニシダレ, ヤエベニシダレ等)	9本
・ ヤマザクラ系(ヤマザクラ, オオヤマザクラ等)	16本
・ ヒガンザクラ系	8本
・ その他(フユザクラ, カンヒザクラ等)	18本
(3) アカマツ・クロマツ	計53本
(4) その他(タブノキ・モッコク等)	計47本